信濃毎日新聞　平成２６年(2014年)１１月２日 日曜日

都市大塩尻

３年ぶり　頂点目指し８日決勝

県高校サッカー

第93回全国高校サッカー選手権県大会は１日、松本市のアルウィンで準決勝を行い、上田西と都市大塩尻が決勝に進んだ。上田西は９年ぶり、都市大塩尻は３年ぶりの優勝を目指して８日の決勝で対戦する。

創造学園と対戦した上田西は、前半37分に縦パスから亀谷が先制し、後半７分にはセットプレーから追加点を奪い快勝した。都市大塩尻は鮎沢将の２得点などで後半27分までに３点のリードを奪い、前回覇者の松商学園の反撃を１点に抑えた。

決勝は８日正午、アルウィンでキックオフ。優勝校は年末年始に首都圏で開く全国大会に出場する。

狙い通りの形で３点

昨年の決勝と同じ顔合わせとなった準決勝の第２試合は、都市大塩尻が３―１で雪辱を果たした。高橋監督は「３点とも狙い通りの形から取れた」と納得した。

これまでサイドハーフで起用していた鮎沢将をＦＷに入れたことが当たった。「うちはボールをつないでいてシュートするのが遅い」と感じていた高橋監督は、早めのシュートを指示。前半９分、鮎沢将は「キーパーが前に出ているのが見えた」とミドルシュートをたたき込んだ。

後半６分の２点目はショートコーナーから。鮎沢将が百瀬にボールをいったん預けた後、角度のない場所からシュート。長身選手がいる松商学園にはゴール前の空中戦で分が悪いため、鮎沢将が「ずっと練習してきたパターン」と振り返る会心のゴールだった。

３点目は相手がペースをつかみかけた時にカウンターで奪った。

決勝の相手は上田西。高橋監督は「最近は引き分けはあっても勝てていない。ゲームは支配していても、なぜか相性が悪い」。鮎沢将は「苦手意識がある」と話す。打開策を講じながら残り１週間の練習に集中する。

松商学園―都市大塩尻　前半９分、先制ゴールを決めて喜ぶ都市大塩尻の鮎沢将（中央）

▽準決勝

都市大塩尻		松商学園
3	(1―0 / 2―1)	1

0	寺沢	GK	小林	0
0	岡村	DF	秋本	0
0	有賀		吉川	0
0	大島		井出	0
0	渡辺		木下	0
0	山元	MF	東城	0
0	百瀬		高橋	1
1	鮎沢涼		浅川	0
3	鈴木	FW	小松	2
0	吉森		唐沢	1
3	鮎沢将		山上	2
	10	GK	15	
	6	CK	5	
	15	FK	11	
	9	SH	7	

▽得点経過　都　松

前９【都】１―０　鮎沢将
後６【都】２―０　鮎沢将
後27【都】３―０　代田
後37【松】３―１　亀井

▽交代【都】代田２（鮎沢将）平林０（鮎沢涼）東０（大島）青島０（渡辺）【松】矢口０（浅川）亀井１（山上）

▽警告【松】秋本

■この記事・写真等は信濃毎日新聞の許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。